

➤ 1時間でわかる脳卒中アプローチ

ハンドリングとは

～評価とアプローチの考え方～

-
1. 触れる意味とは
 2. 評価とは？
 3. アプローチとは？
 4. 臨床場面での仮説検証作業
-



触る必要は何か？

社会的・精神的・身体的に
再び適した状態に改善するため

それって本当にリハビリ？

ROM制限がある患者様にストレッチを行う
これはこれはリハビリ？

介助

リハビリ



それって本当にリハビリ？

ROM制限がある患者様にストレッチを行う
これはこれはリハビリ？

介助

他者を手伝い、サポートする行為。

身の回りの生活において支援が
必要な人に対して提供されるサポート

伸びない筋肉を伸ばすサポート

リハビリ

体力や機能の回復、向上、維持
を目的とするプロセス。

病気やけが、障害、または手術などによって
生じた機能の低下や制約を克服するための活動

自分の伸ばすためのプロセス

触る必要は何か？

社会的・精神的・身体的に
再び適した状態に改善するため

触る目的は、本人が問題を克服するためのプロセス・活動
このための『きっかけ』にならないといけない！！

肘が曲がらない・・・

介助

肘を曲げるサポート
肘を曲げてあげる・・・

リハビリ

肘を曲げる方法を教えること

?

この意味がわからない・・・どんな方法？

脳卒中患者様の原因とは？

アプローチするのは？

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりして、
脳の機能が損なわれる病気の総称です。

状態評価

ADL評価

基本動作→筋緊張

セルフケア→運動麻痺

コミュニケーション→失語

病棟生活→FIM

ADLが改善

症状の有無評価

筋緊張：アシュワース

運動麻痺：BRS-t

失語：SLTA

前頭葉：FIM

症状が改善

原因評価

被殻出血：抑制障害・筋緊張障害



可塑性

何が変わるの？

評価：基底核・内包・放線冠

目標に近づくために？

どんなアプローチが必要？

目標

<条件>

環境

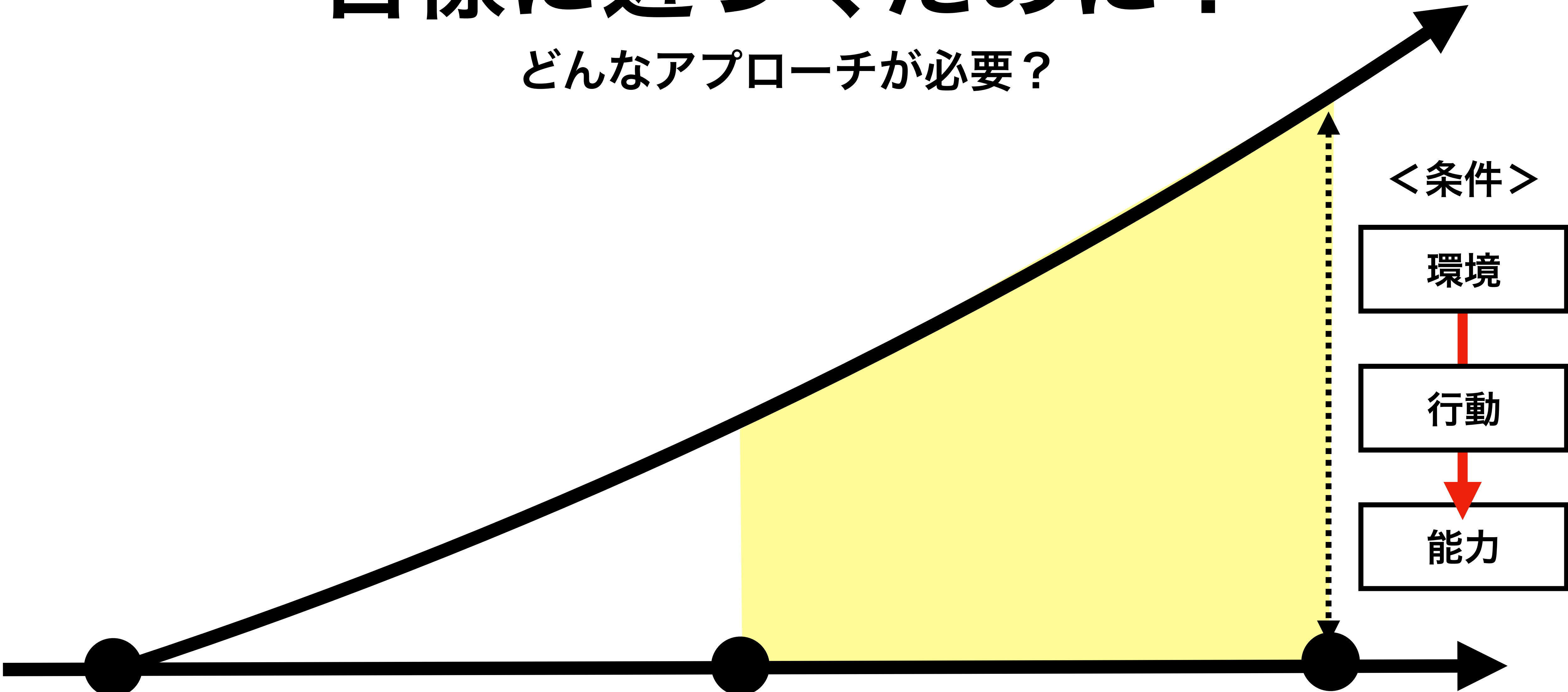
行動

能力

過去

現在

未来



どうすれば行動・能力を変えられるか？

行動を変えるためにどこにアプローチするべき？

どうすれば行動・能力を変えられるか？

行動を変えるためにどこにアプローチするべき？

なんのために
意識させるのか？

なぜ、考え方を
変える必要がある？

なぜ行動するのか？



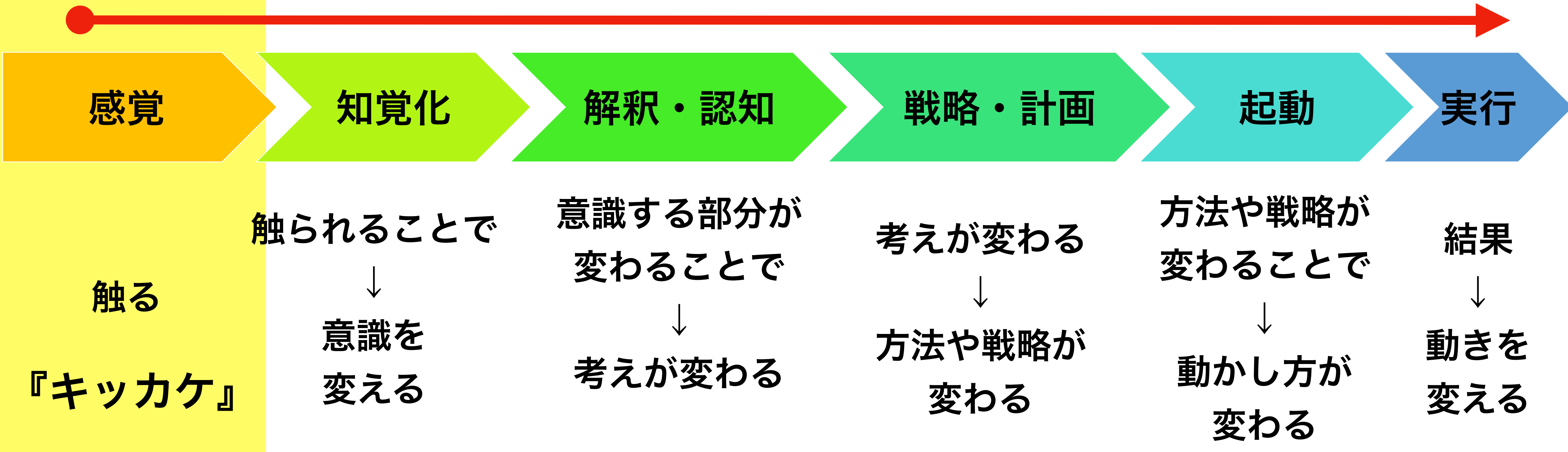
触る必要は何か？

社会的・精神的・身体的に
再び適した状態に改善するため

触る目的は、本人が問題を克服するためのプロセス・活動
このための『きっかけ』にならないといけない！！

触る必要は何か？

<プロセス>



触る目的は、本人が問題を克服するためのプロセス・活動
このための『きっかけ』にならないといけない！！

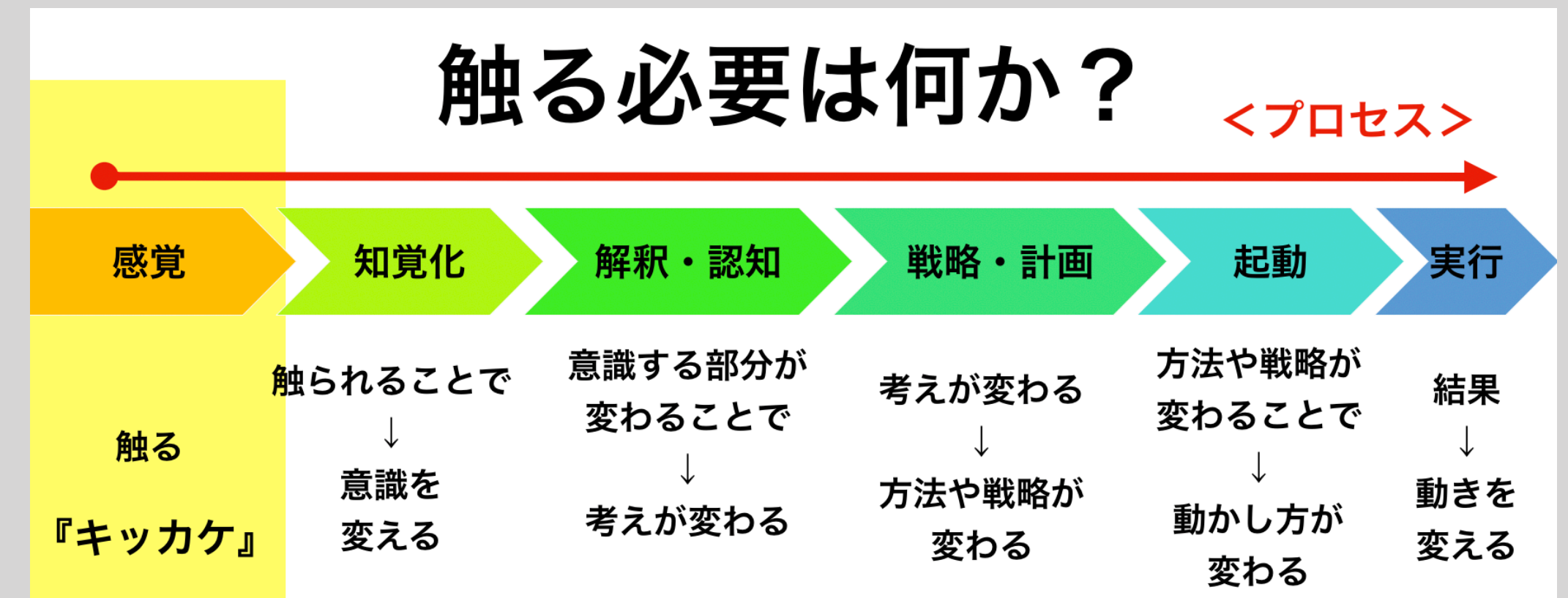
肘が曲がらない・・・

介助

肘を曲げるサポート
肘を曲げてあげる・・・

リハビリ

肘を曲げる方法を教えること



触る目的は、本人が問題を克服するためのプロセス・活動
このための『きっかけ』にならなければならない！！

肘が曲がらない・・・

介助

肘を曲げるサポート
肘を曲げてあげる・・・

リハビリ

肘を曲げる方法を教えること

触ることによって意識がどう変化し
本人の認識をどう変えるか？

ハンドリング

ハンドリングについて

①本人の認知評価

(どう考えて・感じているのか?)

②本人の意識変化の評価

(意識をしている場所・仕方)

課題



①手をあげて拳げてもらおう

②評価：知覚

③評価：認識

④アプローチ（知覚変化）

→肩への知覚

⑤結果

→肩への知覚したら何が変わるのか？